

会報

# 国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

第13号  
2011年6月12日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局  
千葉市中央区要町2-8 D.C.会館内  
TEL 043-222-7207  
nationwidemovement@yahoo.co.jp

# 国鉄闘争を軸に反撃始めよう

## 一日比谷公会堂を1780人が埋め尽くす



### 6.5 怒りと結び職場から運動を

■田中康宏(勤労千葉委員長)  
私たちが今やらなければいけないことは、闘う労働組合をも一度復権することです。

去年の4・9政治和解以降、国労はどうなっているのか。7月末に国労の全国大会が開かれますが、規約を改正する案が出ています。組合員の定義を「JRとJR関連企業に雇用された者」としました。24年間闘い続けてきた解雇者を組合員じゃなくし、完全に企業内御用組合になるといことです。

悲惨な現実をも口実として公務員の賃金1割カットが出てきました。この中心に国鉄闘争をつぶすことが据えられている。これから反撃を開始しないといけないと痛烈に感じています。

私は「それはできる」と感じています。私たちは小さな力ですが、この1年間のうちにも何度も業務外注化を阻止するためにストに立ち上がりました。私たちみたいな小さな労働組合でも10年間にわたってこの攻撃を阻止しています。

■中村吉政(全国金属機械労働組合港合同委員長)  
一年前に「国鉄闘争の火を消すな」という熱い志と強い意志を持ってこの運動がスタート

し、すでに全国40カ所を超える職場や地域で支援する会が結成されました。

4・9和解から一年たつて闘争団の再雇用の道は開かれたでしょうか。期限切れになって、もう後わずかでその話も立ち消えになっています。結局闘わなかったら何も得られないということの証じゃないでしょうか。

■武谷新吾(全日建運輸連帯労組関西地区生コン支部執行委員長)  
高副委員長を始め13人の逮捕についてみなさんの暖かい激励

と支援に感謝を申し上げます。われわれは2005年から弾圧を受けてきました。06年の春闘で巻き返しまして、過剰サービスの撤廃、生コン価格の値戻しをしました。次の年の07年には賃上げ6500円、08年にも上乗せし、09年には1万5千円の賃上げをかちとりました。最終的な仕上げである昨年の7月から、中小零細企業と共闘して大手企業と闘うゼネストで大きな成果をあげました。

こういった中で、敵がもくろんできたのは、まず集団交渉をつぶそうということです。それにひるまず、賃上げについては月7000円相当で解決。年間一人あたり10万円相当なんです。震災のほうへ義救金として全員がカンパしております。

■根津公子さん(「日の丸・君が代」不起立処分と闘う教育労働者)  
原発事故が起る中で教育の責任を考えるをえませんが、国策である原発も「日の丸・君が代」と同じように、教員たちが黙ってききました。黙っていることは、加担だと考えなければいけないと思います。

「日の丸・君が代」で、私たちが主張してきたのもこのことです。まさにこういった教育のつくり直しが課題になっていると思います。私なりに頑張っていますので、提起などについていただきたいと思っています。

## 東電と政府に責任とらせよう

### 福島からの訴え

■清野和彦(元福島県教組委員長)  
私は今、退職教職員協議会というところに属して、現役と一緒に活動しています。双葉支部という140人からの退職者がつくっていた支部がありました。彼らは今、どこにいるのかわかりません。完全に離散してしまいました。

それもそのはずだと今、つくづく感じています。地方公共団体、市町村を含めて、すべて東電の支配下にあると言っているくらい地域ぐるみ巻き込まれていた所です。その中で反原発を唱え、とにかく福島県教組に結集して闘ってきたのは並大抵のことではな

■中手聖一さん(子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク代表)  
子どもを守ろうとする親たちは、必死で一人ひとりが動きました。そうして動き始めた親たちがつながりあってきたのが、子どもたちを放射能から守る福島ネットワークという県民の団体です。5月23日には、文科省に直接子どもたちの被曝を低減化する行動を起すように要請に行きました。文科省が示したものは校庭の一部除染だけ

だったと、つくづく感じています。今、私たちが一番ほしいのは正確な情報です。判断するに足る正確な情報が流されてこないのが、一番嫌です。政府や東電は責任を持つべきだとつくづく感じています。二度と繰り返さないために、うそつきは許してはならないと思います。敵はやっつけなければならぬと思います。

です。学校内以外は文科省のうかがい知るところではない、という態度です。今日お願いしたいのは、もう一刻の余裕もないんです。今、私たちのネットワークでは直接、県外の自治体にかがって、福島の子どもの安全を確保しよう、その協力をしてくれと呼びかけようと思います。恥ずかしい話ですが、福島県、福島県内のほとんどの市町村は頭から抑えつけられて何も動きません。情けない話です。

今回の事故、放射能の汚染は子どもたちには何の責任もないんです。30万人の子どもの安全を何としても救わなければならぬ。その思いからけっしてあきらめるわけにはいきません。ここにお集まりの皆さん、どんなことでも結構ですから、福島の子どもの安全を確保し、守っていただけるようにお力添えを下さい。どうもありがとうございます。



# この運動の中に芽がある 〜呼びかけ人からの訴え〜

■手嶋浩一 (元国労九州本部書記長)

国鉄の分割・民営化で資本に抵抗しない、物わりのいい労働組合を作り、そして「核の平和利用」と言って中曽根が舵を切ってきた。しかし今日それが誤りであったことがこの東日本大震災で明らかになったと思います。

てそんなに大きくない。しかし、この小さな運動の中ですべての芽があるんだ。そのことに確信を持ちましょう。そして、こうした小さな芽を全国至る所に広げ、それをつなぎ合わせていく努力をいたしましょう。

「あらゆる職場にこんなこと、もう辛抱できるか」「私も立ち上がりたい」と考えているような労働者は数多くいます。そういう労働者一人ひとりに話ができるような言葉をつくりだしましょう。一年間、そういう努力を続けて、これを数倍する力でもってまたお会いしたいと思います。

■伊藤晃 (日本近代史研究者)

私たちの運動は、いせんといは組合の活動家がいなくなった形は違うんですが韓国でも闘う労働組合が弱くなったのは組合の活動家がいなくなった

■金元重 (韓国労働運動史研究家)

形は違うんですが韓国でも闘う労働組合が弱くなったのは組合の活動家がいなくなった

■宇都宮理 (愛媛県職員労働組合)

公務員賃金引き下げについて、5月13日に政府から提案を受けた公務員連絡会は10日後の23日には合意してしまいました。全国の官民労働者の生活破壊につながる提案を、闘うことなく受け入れるあり方は、労働組合として許されるものではありません。

■高石正博さん (動労千葉争議団長)

ぼくも今、全国を回ってこの運動を広げようとしています。少し気になったのは、北海道での事故なんです。北海道と同じように労働者に責任を転嫁しようとしているんですね。なのに労働組合はどうしてですか。聞こえないですよ。動労千葉としては黙ってられません。

■中村仁さん (動労千葉争議団)

われわれは一人の解雇も許さない。宮城の人たち、福島の人たちが苦しんでいるのと同じ人たちが一緒に闘っている人たちが一緒に闘うことが必要です。そして、われわれが労働者として屈服してきてしまったことが、現実的にあるんです。変えていかねばいけない。だからこそ、1047名闘争を中途半端に終わらせるんじゃないくて、絶対に解雇を撤回させるまで闘い抜きます。

■北嶋琢磨さん (動労千葉青年部再建準備委員長)

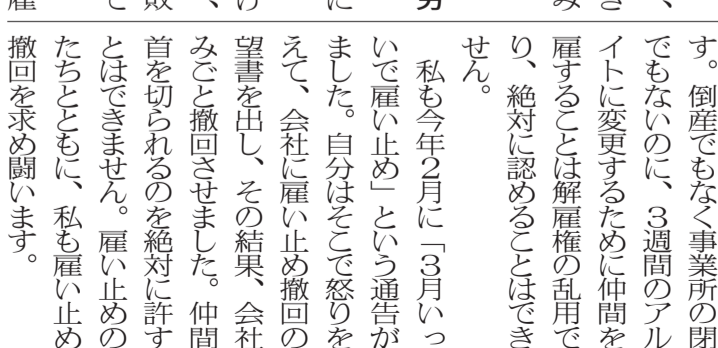
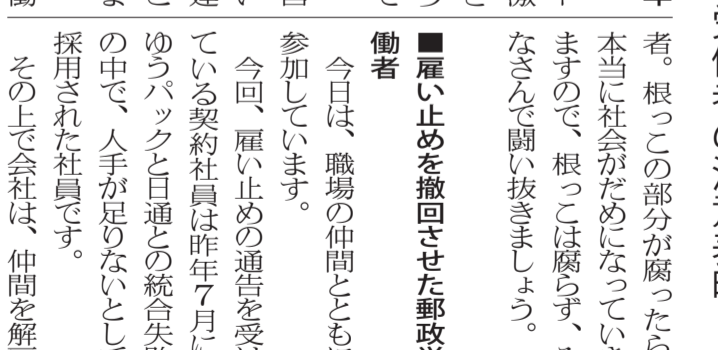
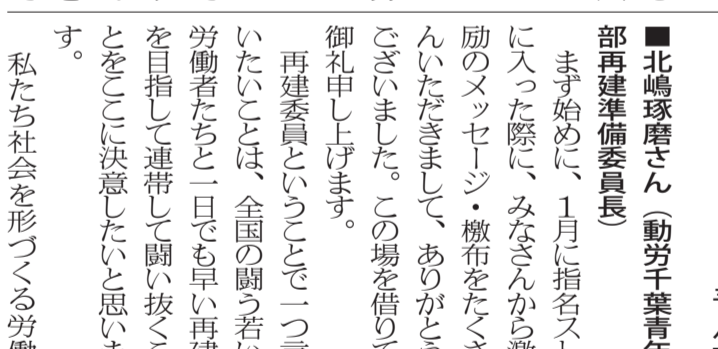
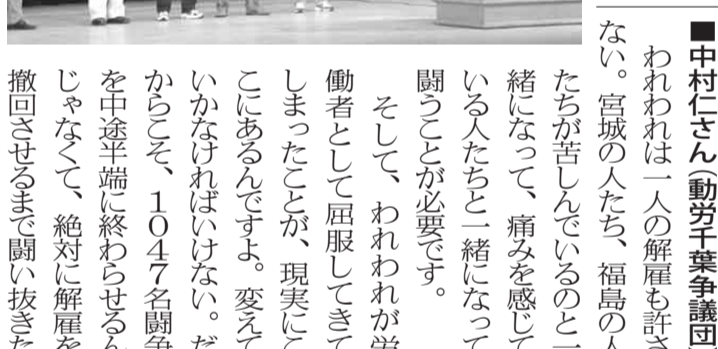
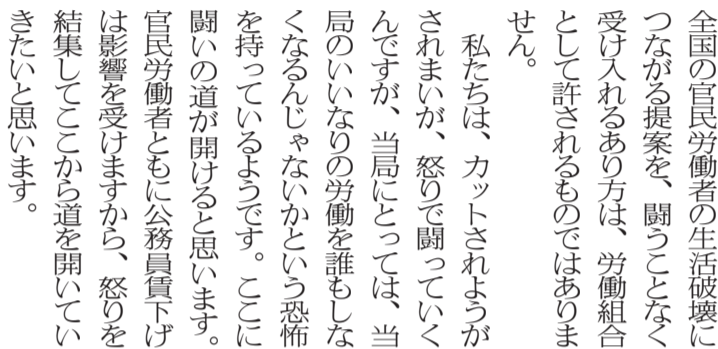
まず始めに、1月に指名ストに入った際に、みなさんから激励のメッセージ・檄布をたくさんいただきました。ありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。

■雇止めを撤回させた郵政労働者

今日は、職場の仲間とともに参加しています。今回、雇い止めの通告を受けている契約社員は昨年7月に、ゆうパックと日通との統合失敗の中で、人手が足りないとして採用された社員です。その上で会社は、仲間を解雇

■石崎義徳さん (国労鳥栖争議団)

私はどうしても和解することができなかったというところで、現在も裁判を続けています。こちらからお願いをして和解をしてもらった。そのような和解は断じて許しがたい、裁判を継続すると表明したところ、「あなたの行動は、無責任きわまる」ということまで言われました。ところが、今の現状を見るならば、彼らの行動こそ、まったく無責任きわまると言わざるを得ません。



撤回を求め闘います。

## 1047名解雇撤回！ 〜闘争団からの訴え〜

花輪不二男 (世田谷地区労働組合協議会顧問)

国鉄闘争そのものについて、私は怒りをもって発起人の一人にすぎなかったわけですが、責任をとらない政府、これを逃がしちゃいけないんですよ。

大野義文 (元安芸労働基準監督署長)

企業が、機関銃以上に危険さまりない放射性物質を抱えて、毎日つくり、それを今回のように排出して地域住民、労働者の生活、人生、生業を全部破壊したら、どんな犯罪行為と言えぬのか。

北原鈺治 (三里塚芝山連合空港反対同盟事務局長)

どうですか、みなさん。いまの世相をみて。これでいいのか？ その思いで一杯です。三里塚は45年間、闘ってきました。

小玉忠憲さん (国労秋田闘争団)

JR東海会長の葛西敬之は、この期におよんで何と言ったのか。「原子力を利用し続ける以外に、日本の活路はない。いる」と思っています。

石崎義徳さん (国労鳥栖争議団)

私はどうしても和解することができなかったというところで、現在も裁判を続けています。こちらからお願いをして和解をしてもらった。そのような和解は断じて許しがたい、裁判を継続すると表明したところ、「あなたの行動は、無責任きわまる」ということまで言われました。ところが、今の現状を見るならば、彼らの行動こそ、まったく無責任きわまると言わざるを得ません。

## 震災解雇と闘い抜く 青年労働者の決意表明

北嶋琢磨さん (動労千葉青年部再建準備委員長)

まず始めに、1月に指名ストに入った際に、みなさんから激励のメッセージ・檄布をたくさんいただきました。ありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。

雇止めを撤回させた郵政労働者

今日は、職場の仲間とともに参加しています。今回、雇い止めの通告を受けている契約社員は昨年7月に、ゆうパックと日通との統合失敗の中で、人手が足りないとして採用された社員です。その上で会社は、仲間を解雇

石崎義徳さん (国労鳥栖争議団)

私はどうしても和解することができなかったというところで、現在も裁判を続けています。こちらからお願いをして和解をしてもらった。そのような和解は断じて許しがたい、裁判を継続すると表明したところ、「あなたの行動は、無責任きわまる」ということまで言われました。ところが、今の現状を見るならば、彼らの行動こそ、まったく無責任きわまると言わざるを得ません。

撤回を求め闘います。